

Recdia

(株)サン・データセンター

目次

1. 概要説明
2. 用意するもの
3. 録音設定
4. 録音
5. 再生
6. MARK・フレーズ
7. 修正録音
8. 音声補正機能
9. 校正票
10. その他の主な機能
11. よくある質問

1. 概要説明

～ Recdiaとは？ ～

- 録音図書製作用の録音・校正ソフト
- カセットデッキと同じ操作感覚
- 片手で操作が可能(ショートカットキー)
- 音声データは、パソコンのハードディスクに保存

2. 用意するもの

- Recdia
- パソコン
- マイク
- スピーカーまたはヘッドホン
- USB音源(11. よくある質問(その2、3)をご覧ください)



3. 録音設定

～ 3ステップで設定 ～

- ① マイク音量設定
- ② 騒音測定
- ③ テスト録音

● 一度設定するだけでOK！
(騒音測定のみ、録音時毎回自動的に起動します)

4. 録音

～ 録音ボタンを2回押すだけ ～

- ① 録音ボタン を1回押すと…

→ 声の確認 (生音と補正音を確認してみよう)



- ② 録音ボタン をもう一度押して録音開始
- ③ 一時停止ボタン または停止ボタン で録音ストップ



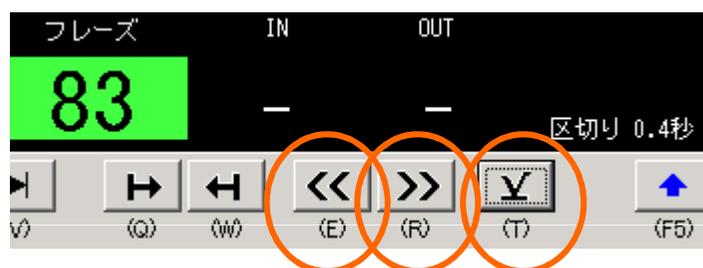
5. 再生

～ カセットデッキと同じ操作感覚＋便利機能 ～



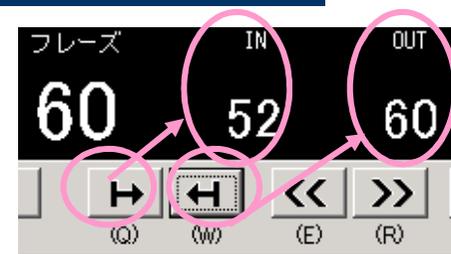
- 再生・停止・一時停止・早送り・巻戻しはデッキと同じ
- ショートカットキーを使えば、キーボードで簡単操作
(ボタンの下のアルファベットがキーボードに割り当てられています)
- 巻戻し(早送り)は速度が10倍、120倍、600倍に変更可能
- HEAD・TAILボタンで瞬時に頭出し・末尾移動

6. MARK・フレーズ ～ フレーズを理解しよう ～



- フレーズとは？
→無音部分で区切られた音声データのかたまりのこと
- BACKボタン  ・NEXTボタン  で1フレーズ毎に再生可能
- MARKボタン  でフレーズに目印を付ける
→目印を付けられたフレーズ番号は緑色になります。
Shiftキー＋BACK・NEXTボタンでMARKされた部分にジャンプします。
しおり代わりにや校正箇所をチェックする場合などに利用できます。

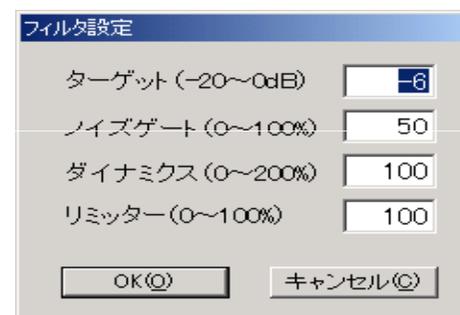
7. 修正録音 ～ フレーズ操作で簡単修正 ～



- 例① 間違えた部分を置き換えたい！
→修正開始フレーズをIN 、修正終了+1フレーズをOUT  で指定し録音（長さを変えたくない場合はOUTを固定）
- 例② 同じ行を2回読んでしまった！
→修正箇所をIN・OUTで指定したら「フレーズ操作」の「切り取り」
- 例③ 1行とばして読んでしまった！
→ IN・OUTともに挿入位置の次のフレーズ番号を指定します
- 例④ 長すぎた無音部分を削除したい！
→「フレーズの分割」機能を使って、無音部分を削除できます
- 例⑤ 再生している途中から録音し直したい！
→録音を開始したいタイミングで、再生ボタンを押しながら録音ボタンを押します

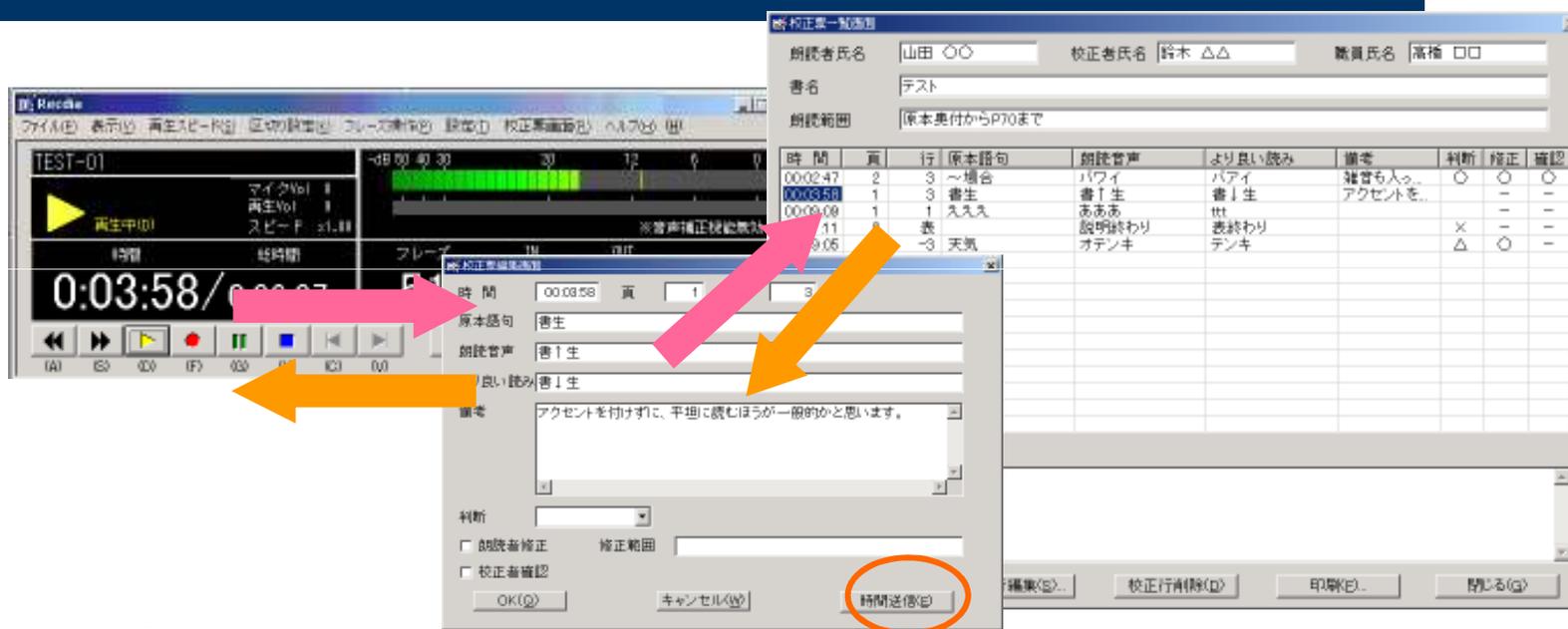
8. 音声補正機能 ～ 自動で音声を補正 ～

- 増幅機能
ダイナミクス 0…増幅なし(生の声)
100…増幅あり
- ノイズ削減機能
ノイズゲート 0…生の声(ドライ100%)
100…ノイズを小さくした場合
※通常50%程度だと違和感がない状態
- 減圧機能
リミッター 0…減圧なし(生の声)
100…減圧あり



9. 校正票

～ 校正票データの受け渡しができます ～



- 校正者
→再生中、気になる部分で時間をクリックし、修正内容を入力します
- 朗読者
→校正票追加画面の「時間送信」をクリック
→校正箇所へ直接ジャンプするので、すぐに再生できます

10. その他の主な機能

- ファイルの分割
分割したいフレーズ番号からファイルを分割できます
- ファイルの結合
2つのファイルを1つに結合することができます
- 再生スピード変更
スピードを速くしても音程は変わりません
- 区切り設定の変更
フレーズを切る無音の長さを変更できます

11. よくある質問(その1)

Q1.Recdiaで録音したものをテープにおとすことはできますか？

→パソコンのラインアウトとカセットデッキのラインインを接続してテープに落とします。

Q2.どんなパソコンでも使えますか？

→OSがWindows98SE/Me/2000/XPであれば大丈夫ですが、詳細はパンフレットの「動作環境」をご覧ください。Vistaは、バージョン1.0.3より使用可能です。

Q3.飛行機や車の騒音が入らないか心配です

→音声補正機能により無音部分の生活騒音はカットできます。

11. よくある質問(その2)

Q4.データの受け渡しは、どのようにしたら良いですか？

→CD-R、CD-RW、USBメモリー、外付ハードディスクなどで受け渡しができます。

Q5.パソコンで録音する場合、音質や音量は大丈夫？

→デジタル録音を行うには、サウンドカードの性能が重要になります。パソコンに最初からついているサウンドカードでは、録音図書の製作に向かない場合が多いので、取扱いの簡単なUSBオーディオデバイスをお勧めします。

11. よくある質問(その3)

社名	製品名	実売価格	写真	備考
SONY	DR-260USB	8,000		メーカーではコンデンサマイクのみ対応としているが、ダイナミックも使用可能
ONKYO	SE-U33GX+	12,000		ダイナミックマイクが使用可能
ローランド	UA-4FX	19,000		ダイナミック・コンデンサマイク使用可能

11. よくある質問(その4)

Q6.どんなマイクを使えば良いのでしょうか？

→パソコンで録音する場合に使用するマイクは基本的にコンデンサマイクとなります。また、USBオーディオデバイスを使用することにより、ダイナミックマイクの使用も可能な場合があります。

	コンデンサマイク	ダイナミックマイク
仕組み	電極に電圧をかけて、静電容量の変化を電気信号に変換し、音を入力する	音によって生じた振動を電気信号に変換し、音を入力する
電源	必要	不要
音質	高音がキレイに入る	高音に弱い (ただし、性能の良いものはキレイに入ることです)
丈夫さ	衝撃や湿度に弱い	湿度や衝撃に強い

11. よくある質問(その5)

社名	製品名	実売価格	備考
SONY	ECM-330	8,000	コンデンサマイク
SONY	DR-260USB	8,000	・USBオーディオデバイス付属のヘッドセット ・コンデンサマイク
SHURE	SM58	13,000	ダイナミックマイク

Q7.Recdiaはいくらですか？

→1ライセンスにつき、6,000円(税込6,300円)です。

Q8.試しにRecdiaを使ってみたいのですが？

→RecdiaNETホームページ(URL:<http://www.recdia.y-net.co.jp>)から体験版がダウンロードできます。
(機能制限:録音時間は7分まで)